

【別表４】企画提案内容及び審査の視点（採点基準表）

（１）審査方法

- ・プレゼンテーションを通じて、下記項目に応じ、取り組み意欲、提案全般、支援方法、実施体制、地域資源の活用等を総合評価し、選定委員会における各委員の評価点を合計した結果、最高得点を得た事業者を優先交渉権者として決定する。
- ・配点は、１評価項目あたり（〔５ 事業費の積算額〕を除く）の最高点を５点とする。その内、下表「採点基準表」内の綱掛け欄については、重要評価項目として配点が２倍（１０点）とする。
- ・２者以上同点の場合は、見積額の低い事業者を第１位として決定する。
- ・各委員の持ち点（２００点）を合算した値（満点）の６割を最低基準点とし、各委員の評価点を合算した値が最低基準点に満たない事業者は選外とする。

（２）評価基準

さいたま市生活困窮者学習支援業務委託（中学生対象） プロポーザル方式 評価項目及び配点（採点基準表）

評価項目		評価基準		配点	
1	取り組み意欲	(1)	こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律及びこども大綱の趣旨を含め、子どもへの支援の重要性について理解が十分にできているか。	15	1・2・3・4・5
		(2)	対象者が生活困窮世帯の子どもということ十分に理解した上で、業務に対する取り組み意欲及び高い知識を有しているか。		1・2・3・4・5
		(3)	責任者が「貧困の連鎖」を防止する熱意とリーダーシップを有しているか。		1・2・3・4・5
2	提案全般	(1)	趣旨を理解し、要求水準書記載の業務内容すべてについて、適切かつ有効な提案がなされているか。	15	1・2・3・4・5
		(2)	事業の目的にあった独自の業務内容の提案がなされているか。		1・2・3・4・5
		(3)	業務内容が実現可能な提案となっているか。		1・2・3・4・5
3	支援方法	(1)	支援対象の子どもに対して、学習支援教室への登録を促す魅力的なアイデアがあり、登録後は継続的な参加を促す方法について、効果的かつ具体的な提案がされているか。	80	1・2・3・4・5 × 2
		(2)	欠席者が増える休業期間の参加を促す取り組みについて、効果的かつ実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(3)	基礎学力の向上及び学習習慣の定着を図るための支援方法について、効果的かつ具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(4)	一方的な支援ではなく、子どもに寄り添った居場所づくりについて、効果的かつ具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(5)	支援が必要な子どもに対する自己肯定感や自己有用感を育む居場所の提供について、効果的かつ具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(6)	居場所としての機能だけでなく、学習に集中できる環境について、提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(7)	基本的な生活習慣の形成や良好な人間関係を構築するための支援方法について、効果的かつ具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(8)	個々の学力に応じた支援や受験等の進学に対応する支援について、具体的に実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(9)	高校進学及び中退防止のための支援方法について、効果的かつ具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(10)	不登校や引きこもり等の子どもに対するアウトリーチ（積極的に対象者の居所に出向いて働きかける）の方法について、効果的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(11)	子どもからの学校や家庭で話せない不安や悩み等の相談対応について、提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(12)	保護者からの相談対応について、具体的に実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(13)	保護者に対して子どもの養育に必要な知識や各種支援施策の情報提供を行うなど、世帯全体への支援方法について、提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(14)	不測の事態等により教室への参加が困難となった際に、オンラインでの支援等、教室参加の代替となる支援方法について、具体的に実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5 × 2
4	実施体制	(1)	本市又は他の地方公共団体での同種又は類似業務の実績、又は、子どもの貧困対策や子どもに関する相談支援の実績等、十分な実績を有しているか。	80	1・2・3・4・5 × 2
		(2)	学習支援及び福祉的な支援に理解と熱意を有する責任者と支援員の選定と安定した確保について、具体的に実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5 × 2
		(3)	個々の学力やニーズに応じた支援員の配置について、効果的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(4)	責任者及び支援員に対する事業理解や資質向上を図る研修について、効果的で具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(5)	支援員に対する対人援助スキル向上を図る体制について、効果的で具体的な提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(6)	事業の効果測定について、学習成果の「見える化」や、指導方法の改善、生徒のモチベーション向上につながる効果的で実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5 × 2
		(7)	支援が必要な子どもを各種支援施策等につなぐ連携体制について、具体的に実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(8)	福祉事務所や関係機関等との連携体制について、具体的に実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(9)	学習支援事業の事業効果を高めるため、学習支援業務（進学応援教室）との連携体制について、具体的に実現性のある提案がされているか。		1・2・3・4・5
		(10)	個人情報保護などの情報管理の手法や苦情に対する適切な対応等、適切な事務処理体制がとられているか。		1・2・3・4・5
		(11)	事件、事故及び災害等が発生した場合の対応及び連絡体制、トラブルを未然に防ぐ安全管理がなされているか。		1・2・3・4・5
		(12)	経営基盤及び組織運営が安定しており、本業務の適切な実施体制がとられているか。		1・2・3・4・5 × 2
5	事業費の積算額	(1)	以下の計算式により、配点する。計算後は小数第１位を四捨五入する。 （最も安価な見積額を提示した事業者の見積額／評価対象の事業者の見積額） × 配点１０点	10	左欄参照
合 計				200	